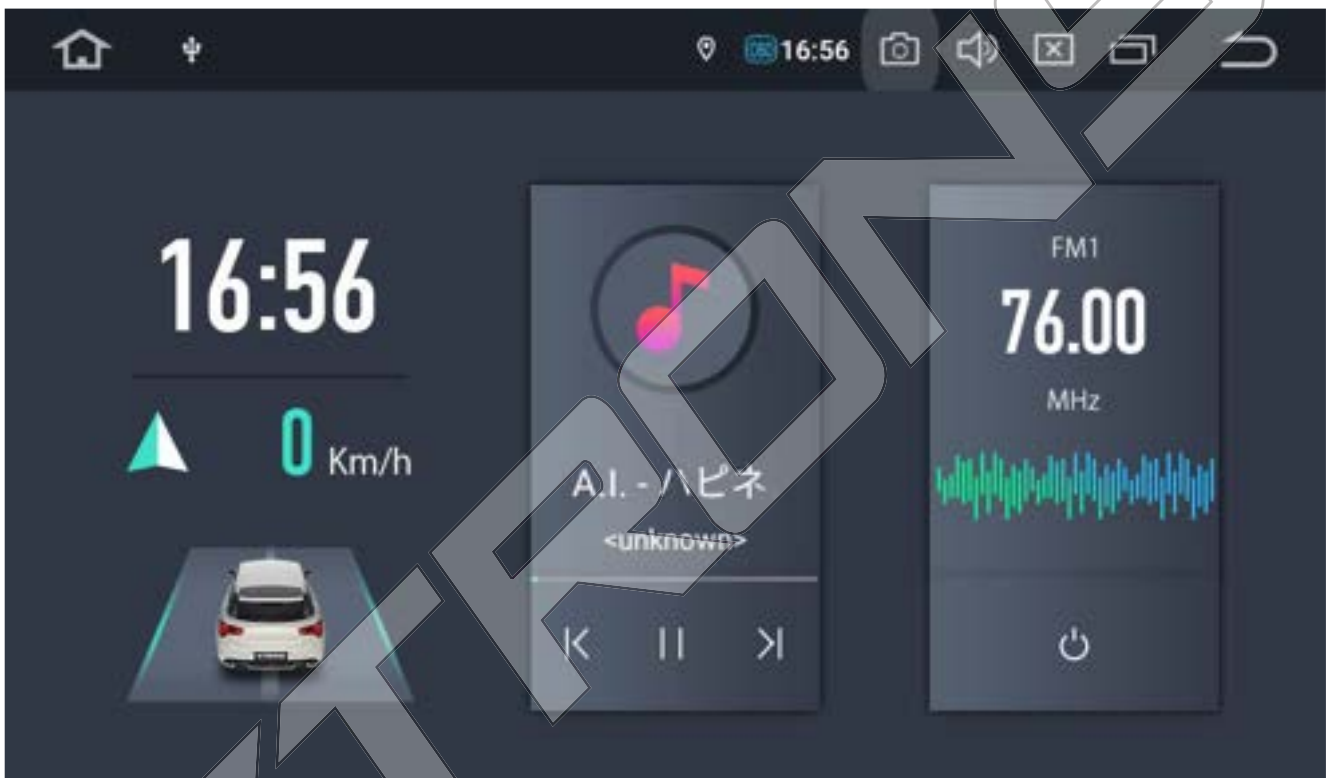


# XTRONS



## TX シリーズ日本語取扱説明書



型番 : DX120L/TX121L

このたびは XTRONS 製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、本書をよくお読みになり、記載された内容に従って正しくお使い  
ください。お読みになった後も必要なときに、すぐご覧になれるよう大切に  
保管してください。




# 安全上のご注意 (安全にお使いいただくために必ずお守りください)

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。


■ 表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。


|   |           |   |
|---|-----------|---|
|  | <b>警告</b> | 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。                |
|  | <b>注意</b> | 「人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容」です。 |

■ お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

|   |                         |   |                   |
|---|-------------------------|---|-------------------|
|  | 注意(警告を含む)しなければならない内容です。 |  | 必ず行っていただく強制の内容です。 |
|  | 禁止(やってはいけないこと)の内容です。    |   |                   |

## 接続・取り付け

 **警告**


 **禁止**


本機は、DC12V $\ominus$ アース車専用です。24V車で使用しないでください。火災や故障の原因となります。

**エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線をしない**  
エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因となります。


**前方視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には絶対に取り付けない**  
交通事故やケガの原因となります。

**電源コードの被覆を切って、ほかの機器の電源を取らない**  
電源コードの電流容量がオーバーすると、火災や感電、故障の原因となります。

 **警告**

 **禁止**

アンテナは、保安基準に適合しない場所に貼り付けたり、再貼り付けや汎用の両面テープで貼り付けたりしない  
視界不良やアンテナがはがれて、事故の原因となります。

 **強制**

**取付・配線、取付場所の変更は、安全のため必ず取付専門店で依頼する**  
取付・配線や取り外しには、専門技術と経験が必要です。誤った取り付けや配線、取り外しをした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。また、お客様ご自身による取付・配線は、ケガの原因となります。

**作業前はバッテリーの $\ominus$ 端子を外す**  
 $\oplus$ と $\ominus$ 経路のショートにより、感電やケガの原因となります。

**作業前に、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する**  
車体に穴を開けて取り付ける場合は、パイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないように注意してください。また、加工部のサビ止めや浸水防止の処置を行ってください。

## 警告



強制

**必ず付属の部品を使用し、確実に固定する**

付属の部品以外を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れて運転の妨げとなり、事故やケガの原因となります。

**説明書に従って接続・取り付けする**  
説明書に従わずに接続・取り付けを行うと、火災や故障の原因となります。

**コードの被覆がない部分はテープなどで絶縁する**

ショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないよう配線する**

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

**コード類は運転操作の妨げとならないように固定する**

ステアリングやセレクトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、事故の原因となります。

**取り付けと配線が終わったら、電装品が元通り正常に動作するか確認する**

正常に動作しない状態で使用すると、火災や感電、交通事故の原因となります。

**ねじなどの小物部品は、乳幼児の手の届かないところに保管する**

誤って飲み込んだ場合は、たてちに医師に相談してください。

## 注意



禁止

**直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所に取り付けない**

内部湿度が上昇し、火災や故障の原因となります。

**アンテナやモニターを不安定なところに取り付けない**

落下などの原因となることがあります。

**通風口や放熱板をふさがない**

内部に熱がこもり、火災や故障の原因となります。

**コード類は絶対に途中で切断しない**

コード類にはヒューズがついている場合があるため、保護回路が働かなくなり、火災の原因となることがあります。

## 注意



禁止

**コード類の配線は、車体の高温部に接触させない**

火災や感電の原因となることがあります。

**製品同梱の電源リード線は、バッテリーに直接接続しない**

火災や感電の原因となることがあります。電流が不足して、バッテリーから直接電源を取る場合は、専用の配線キットを使用してください。

**分岐配線をしない**

ケーブルが加熱して、火災・感電の原因となることがあります。

**雨が吹き込む所や水や結露、ほこり、油煙などが混入するところには取り付けない**

発煙や発火、故障の原因となることがあります。

**コードが金属部に触れないように配線する**

金属部に接触するとコードが破損して、火災や感電、故障の原因となることがあります。

**アンテナやカメラは車幅や車の前後からはみ出さない場所に取り付ける**  
歩行者などに接触して、思わぬ事故の原因となることがあります。

**アンテナコード等を車内に引き込む際は、雨水の浸入に注意する**

雨水が車内に浸入すると、火災や感電の原因となることがあります。

## 使用方法

## 警告



禁止

**運転者は走行中に操作をしない**

前方不注意となり交通事故の原因となります。必ず安全な場所に停車してから操作してください。

**運転者は運転中に画像を注視しない**  
前方不注意となり交通事故の原因となります。

**速度を上げての後退運転や画面だけを見ながらの後退運転はしない**

バックカメラの映像は広角レンズを使用しています。実際の距離と感覚が異なるので、人や物にぶつかる恐れがあります。また、必ず目視による安全確認を行いながら後退してください。カメラの死角になっている人や物にぶつかる恐れがあり、思わぬ事故の原因となります。





強制

**実際の交通規制に従って走行する**  
ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると、実際の交通規制に反する場合があります。交通事故の原因となります。

**運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず停車してパーキングブレーキをかける**

テレビやビデオは、安全のため走行中は表示されません。

**ヒューズを交換するときは、必ず規定容量(アンペア)のヒューズを使用する**

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。



## 注意



禁止

**本機は車載用以外で使用しない**  
発煙や発火、感電やケガの原因となることがあります。

**アンプの放熱部に手を触れない**  
やけどの原因となることがあります。



強制

**音量は、車外の音が聞こえる程度で使用する**

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。



## 注意



指のケガに  
注意

**モニターの収納や角度調整時に手や指を挟まれないように注意する**

ケガの原因となることがあります。

## 異常時の問い合わせ



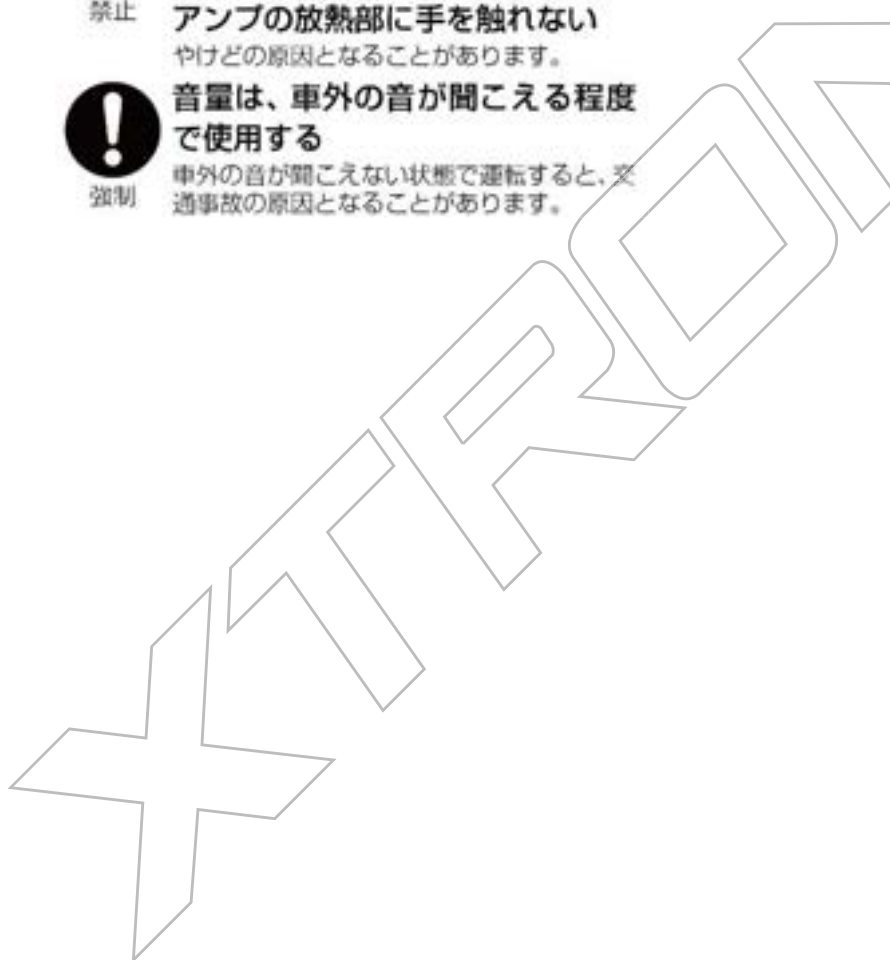
## 警告



強制

**万一異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス相談窓口にご相談する**

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。





# 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| ホーム画面                  | 2  |
| 配線図                    | 3  |
| よく使う機能の設定について          | 5  |
| ラジオ                    | 7  |
| USB / SD               | 8  |
| AUX入力 / テレビ視聴          | 9  |
| Bluetooth              | 12 |
| ブルートゥー音楽               | 14 |
| Carplay/Android Auto接続 | 15 |
| ミラーリング                 | 17 |
| 4G LTE通信               | 19 |
| USBテザリング               | 22 |
| オーディオ設定                | 24 |
| ナビゲーション                | 25 |
| OBD2 (オプション品)          | 26 |
| DVR (オプション品)           | 26 |
| TPMS (オプション品)          | 26 |
| 設定                     | 27 |
| 故障かな?と思ったら             | 36 |
| 連絡先                    | 38 |

## 使用前の注意：

本書で使っているイラストや画面例は、実際の製品と異なることがあります。実際の製品の画面は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

## ホーム画面



- ① ホーム
- ② 時間表示
- ③ 音量調整
- ④ スクリーンショット
- ⑤ 明るさ調整
- ⑥ 最近利用したアプリ
- ⑦ 戻る

# 配線図

DX120Lの場合

実際の製品の配線は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

## 配線説明図



- |               |                           |
|---------------|---------------------------|
| 1. ラジオアンテナポート | 15. DVR映像入力               |
| 2. 4Gアンテナ     | 16. 外付マイク用端子              |
| 3. GPSアンテナ    | 17. リバース信号用配線             |
| 4. USBポート1    | 18. Bluetoothアンテナ         |
| 5. USBポート2    | 19. ブレーキ信号用配線             |
| 6. USBポート3    | 20. WiFiアンテナ              |
| 7. SIMカードスロット | 21. バックカメラ映像入力            |
| 8. ビデオ入力      | 22. IR出力、JT2HD用タッチ連動      |
| 9. 音声出力（前右）   | 23. ステアリングコントロールKEY1 (5V) |
| 10. 音声出力（前左）  | 24. リバース信号用配線             |
| 11. 音声入力（左）   | 25. オートアンテナ               |
| 12. 音声入力（右）   | 26. ステアリングコントロールKEY2 (5V) |
| 13. アンプコントロール | 27. ルミネーション               |
| 14. サブウーファー出力 | 28. ISO電源ケーブル             |

## ISO電源ケーブル

- |                       |               |
|-----------------------|---------------|
| 黄：バッテリー電源プラス極に繋ぐ      | 灰色・黒：前右スピーカー- |
| 黒：アース・バッテリー電源マイナス極に繋ぐ | 白：前左スピーカー+    |
| 赤：ACC（アクセサリ電源）に繋ぐ     | 白・黒：前左スピーカー-  |
| 紫：後右スピーカー+            | 緑：後左スピーカー+    |
| 紫・黒：後右スピーカー-          | 緑・黒：後左スピーカー-  |
| 灰色：前右スピーカー+           |               |

## 配線接続時のご注意：

\* 本ナビには、2本リバース配線があり、バックカメラが接続時、ISO電源ケーブル中の24番目のピンクのリバース配線(back配線)をご利用ください。

\* カメラケーブル中の（17番目の赤リバース配線）は無効で、接続しないでください。絶縁処理すればよろしいです。



# 配線図

TX121Lの場合

実際の製品の配線は、性能・機能改善のため、予告なく変更することがあります。詳しくは販売店の商品ページをご参考ください。

## 配線説明図



- |                    |                           |
|--------------------|---------------------------|
| 1. ラジオアンテナポート      | 19. JT2HD用音声入力 (左)        |
| 2. WIFIアンテナ        | 20. サブウーファー出力             |
| 3. 4Gアンテナ          | 21. アンプコントロール             |
| 4. GPSアンテナ         | 22. 外付マイク用端子              |
| 5. USBポート1         | 23. DVR映像入力               |
| 6. USBポート2         | 24. ビデオ入力                 |
| 7. USBポート3         | 25. 音声入力 (左)              |
| 8. WIFIアンテナ        | 26. 音声入力 (右)              |
| 9. バックカメラ映像入力      | 27. 音声出力 (前左)             |
| 10. リバース信号用配線      | 28. 音声出力 (前右)             |
| 11. Bluetoothアンテナ  | 29. SIMカードスロット            |
| 12. プレーキ信号用配線      | 30. イルミネーション              |
| 13. TV-12V         | 31. ステアリングコントロールKEY2 (5V) |
| 14. GND            | 32. ステアリングコントロールKEY1 (5V) |
| 15. TV-ACC         | 33. リバース信号用配線             |
| 16. JT2HD用ビデオ入力    | 34. オートアンテナ               |
| 17. JT2HD用音声入力 (右) | 35. ISO電源ケーブル             |
| 18. JT2HD用タッチ連動    |                           |

## ISO電源ケーブル

- |                         |               |
|-------------------------|---------------|
| 黄：バッテリー電源プラス極に繋ぐ        | 灰色・黒：前右スピーカー- |
| 黒：アース / バッテリー電源マイナス極に繋ぐ | 白：前左スピーカー+    |
| 赤：ACC・アクセサリ電源に繋ぐ        | 白・黒：前左スピーカー-  |
| 紫：後右スピーカー+              | 緑：後左スピーカー+    |
| 紫・黒：後右スピーカー-            | 緑・黒：後左スピーカー-  |
| 灰色：前右スピーカー+             |               |

## 配線接続時のご注意：

\* 本ナビには、2本リバース配線があり、バックカメラが接続時、ISO電源ケーブル中の**33番目のピンクのリバース配線 (back配線)** をご利用ください。

\* カメラケーブル中の (10番目の赤リバース配線) は無効で、接続しないでください。絶縁処理すればよろしいです。

# よく使う機能の設定について

## ① 画面の英語表示を日本語に変更する

設定方法：設定 → システム → 言語と入力 → 言語 → 言語を追加 の順にタップします。「言語を追加」から日本語を追加したら、1 番上にドラッグしてください。日本語が1 番上になると同時に表示が日本語に変わります。

## ② ラジオの設定

ホーム画面の「設定」→車の設定→出荷時の設定→パスワード:0000 を入力→【基本設定】の【無線エリア】を「日本」に選定し、ホーム画面を押して、再起動の提示が出て、リブートをタッチしてください。再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。

## ③ 走行中に SD/USB 動画/Youtube などネット動画を見る設定

手順：設定→【車の設定】→【一般の設定】→【ブレーキ】をオフに選定（✓を入れないでください）設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

## ④ リセット/初期化の設定方法：

### リセット：

モニターの左側に RST 穴があり、それを細長いもので軽く押してください。その後、機体を再起動してください。

### 初期化：

【設定】→【システム】→【システムアップデート】→【RESTORE FACTORY】

(パスワード:0000 を入力)の順にタッチしてください。

そうすると、商品が初期化され、自動的に再起動されます。

## ⑤ 日付と時間の設定方法：

「設定」－「システム」－「日付と時刻」－「ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する」項目の【オフ】にしてください。

それから、「タイムゾーン」の地域を「日本」に選定して下さい。


そうすると、「タイムゾーン」を「GMT+9：00 日本標準時」に変更されます。

## ⑥ バックカメラの映像は、左右転倒時、正常に戻る設定方法：

【設定】→【車の設定】→【一般の設定】→【バック時鏡像】を【ノーマル】に選定。

そうすると、バックカメラの映像は、正常に戻ります。

## ⑦ バック映像が映らない場合、リバース配線の接続とバック映像入力端子の接続の状況をご確認をお願いします。

また、バック映像画面の  →【型番】の順に押して、【自動】を選定してください。





# ラジオ

\*ラジオが聞けるように、まず、ラジオの受信地域を設定してください。

## 設定方法：

ホーム画面の「設定」→車の設定→出荷時の設定→パスワード:0000を入力→基本設定の【無線エリア】を「日本」に選定し、ホーム画面を押して、再起動の提示が出て、リブートをタッチしてください。

再起動後、ラジオの周波数が設定完了です。



- ① バンド (FM1, FM2 or FM3, AM1 or AM2)
- ② 周波数自動サーチ
- ③ モノラルFMとステレオFMの切り替え「ST」記号は、ラジオがステレオ受信モードになっていることを表示します。
- ④ LOC 遠距離/ローカル 切替
- ⑤ ラジオ設定 (AF (RDS機能用、無効)/TA (交通情報)/PTY (プログラム分類))
- ⑥ 手動周波数サーチ
- ⑦ 放送局リスト  
保存したい枠を2秒以上タッチすると、  
受信している放送局が選んだ枠に記憶されます。

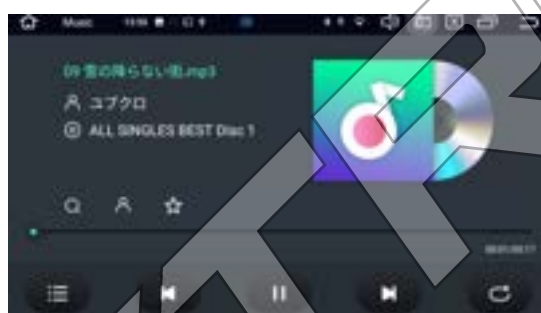
# 映像再生のご注意：(USB/SD/AUX 入力/ネット Youtube 動画など)

安全のため、普通に走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。  
走行中に SD 動画/ネットの映像などを映るように、まず下記のように設置してください。

手順：設定→【車の設定】→【一般の設定】→【ブレーキ】を【オフ】に選定  
(✓を入れないでください)設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

## USB / SD **ご注意：DX120LにはSDスロットがございません**

USB メモリー/SD カードを挿入して、保存された音楽ファイル、画像ファイルや映像ファイルを再生または表示できます。



♪USB/SD の最大容量は、64GB までです。

♪音楽ファイル形式：MP3 /WAV / WMA / AAC

♪動画形式：MP4/MOV/MPEG/AVI/WMV/DIVX/ RMVB/RV

ご注意：

② USB2.0 対応可能で、USB3.0 対応保証がしかねます。

② USB/SD の音楽や動画を再生できるように、

USB/SD のファイルシステム FAT/FAT32 に設定してください。

- ③ 上記の動画形式でも、動画コーデックによって、対応できない場合もありますが、ご了承下さい

## AUX 入力

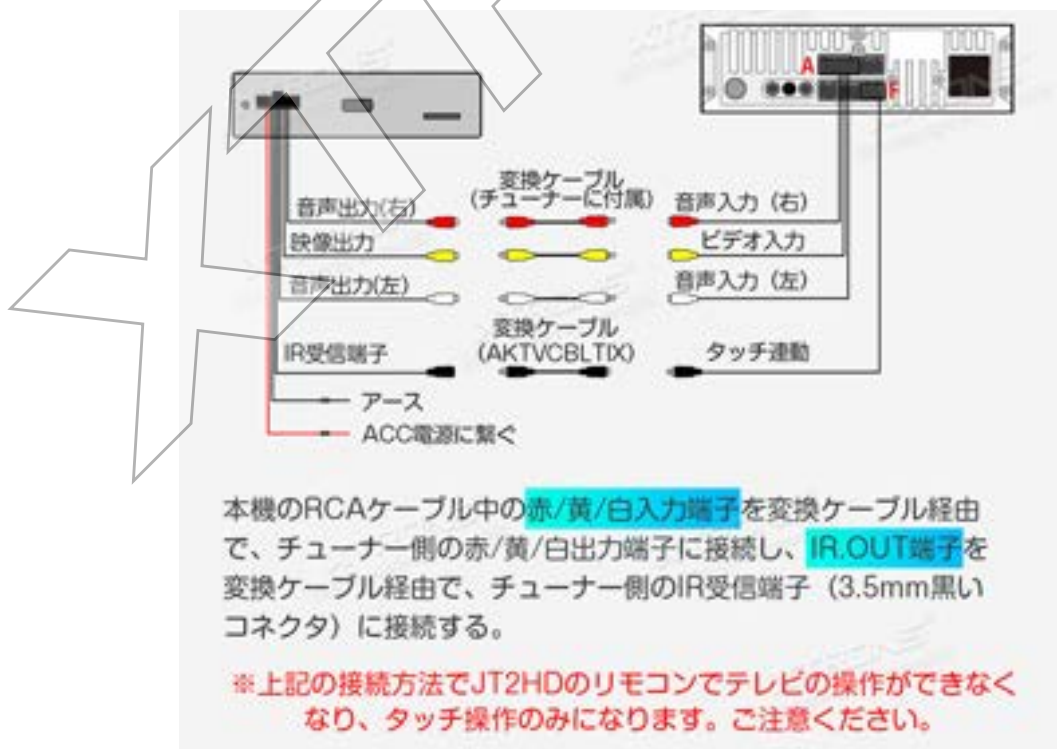
RCA ケーブルで外部機器と接続する場合、画面の「AUX」を押すと、外部入力モードに入り、外部入力映像/音声視聴できます。

## テレビ視聴

DX120LとTX121Lには、外付け地デジチューナーを取り付けば、テレビを楽しむことができます。

この機能は弊社のJT2HD（別売り）のみ対応できます。ご注意ください。

### DX120LとJT2HD（別売り）





チューナーは、上記配線接続後、本機の設定も必要です。

設定手順：

ホーム画面の「設定」→「車の設定」→「出荷時設定」（パスワード：0000）

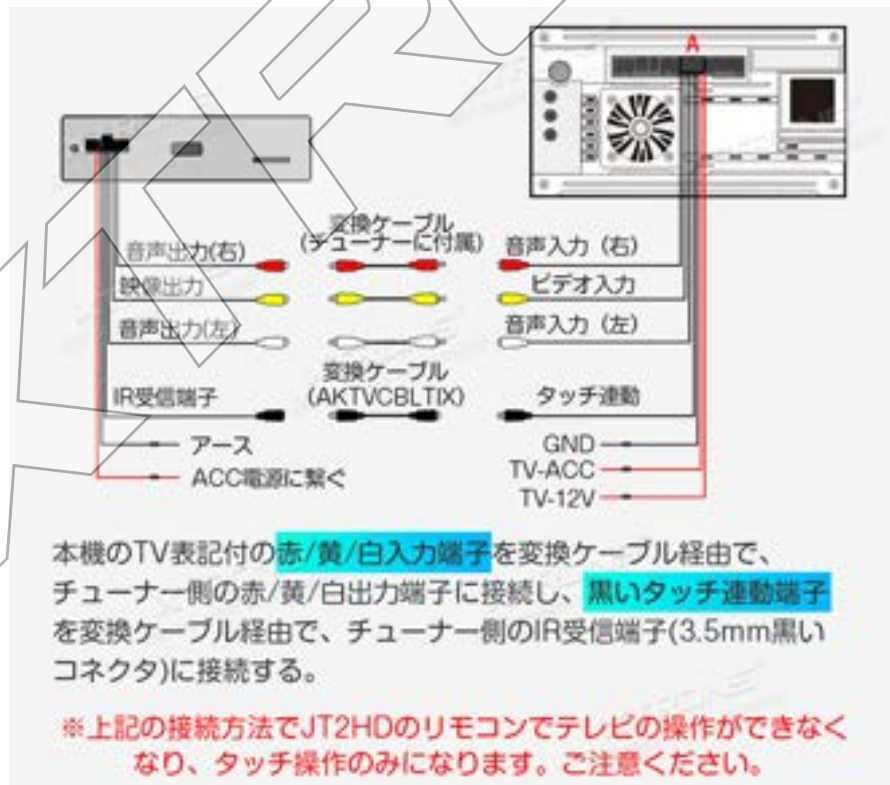
→「ARMの設定」→「TVビデオチャンネル」→「AUX」に選択

→「アプリの設定」→「テレビの種類」→「DTV」に選択

→右上の戻るアイコンを押して、適用の提示が出て、「リブート」を押して、ナビが自動的に再起動します。

再起動後、メニュー画面に「デジタルテレビ放送」のアイコンが出て、アプリに入り、番組をスキャン完了後、テレビが見えます。

### TX121LとJT2HD（別売り）



チューナーは、上記配線接続後、本機の設定も必要です。

設定手順：

ホーム画面の「設定」→「車の設定」→「出荷時設定」（パスワード：0000）

→「ARMの設定」→「TVビデオチャンネル」→「TV（9950-CHN3）」に選択

→「アプリの設定」→「テレビの種類」→「DTV」に選択

→右上の戻るアイコンを押して、適用の提示が出て、「リブート」を押して、ナビが自動的に再起動します。

再起動後、メニュー画面に「デジタルテレビ放送」のアイコンが出て、アプリに入り、番組をスキャン完了後、テレビが見えます。

「チャンネルが見つかりません」と表示される場合

モニターの「サーチ」アイコンを押して、チャンネルのスキャンを行ってください。

「信号が弱いまたはありません」と表示される場合

テレビアンテナが正しく接続されたかどうかをご確認ください。

または、遮蔽物のない、信号の良いところに移動してください。

# ブルートゥース



ホーム画面のBluetooth アイコンを押して、Bluetooth 設定

本機とスマートフォンを Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話機能が使用できます。

※Bluetooth対応端末でも、機種によっては本機と接続に制限が発生する場合があります。

## ご注意：

安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。

※Bluetooth 対応のスマートフォンを御用意下さい。

機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますので、ご注意下さい。


## 1、ペアリング





スマホからペアリングの場合：

- Bluetooth 対応デバイスを本機の 1m以内に置きます。
- スマホの Bluetooth 機能を ON にします。
- スマホの使用可能なデバイスリストから本機のデバイス名「XTRONS」をタップします。

本機からペアリングの場合：

画面右上にサーチアイコン  をタッチして、[利用可能なデバイス]リストでデバイスを選定します

 をタップしてペアリングを行います。

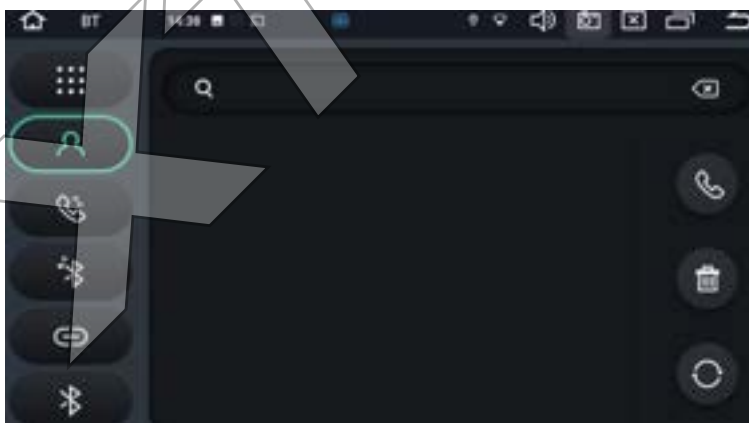
 をタップして接続解除をします。


## 2、 通話（ダイヤル）



電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から連絡先を選択して電話をかけることもできます。

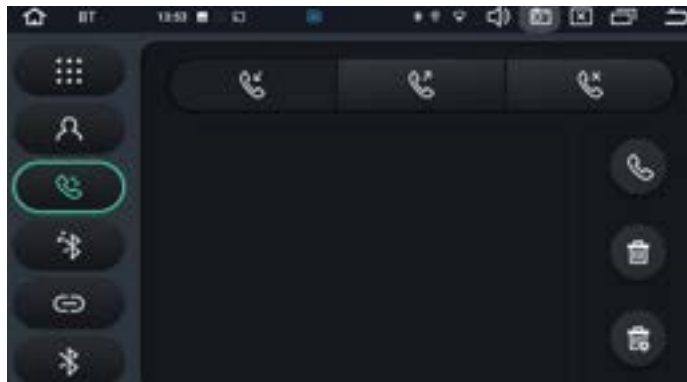
## 3. 電話帳



右側の上から4番目のダウンロードアイコン  をタップして、Bluetoothデバイスの連絡先を同期します。

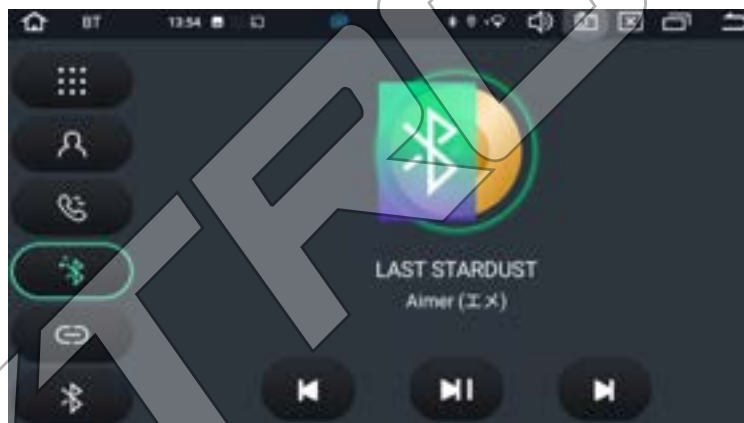
※スマホで「連絡の共有」を有効にしてください。

## 4 最近の通話履歴



最近の通話履歴には着信、不在着信、発信の履歴が表示されます。

## 5 ブルートゥース音楽



Bluetooth 接続が確立したら、Bluetooth 画面で「BT 音楽」アイコンをタップすると、Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽を本機で再生できます。Bluetooth 対応デバイスから音楽再生を操作してから、本機のブルートゥース音楽画面で操作ができます。

ご注意：スマホの機種によっては、本機との接続に制限が発生する場合があります。



## Carplay（無線接続対応のみ）



### iPhone の無線接続の手順：

- ① iPhone 側のモバイルデータ通信を使う。（4G 回線のみ対応可）
- ② iPhone とカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- ③ ホーム画面のZlinkアプリを開けて、iPhone 側に CarPlay利用の許可の表示が出て、OK にすれば、iPhone 画面がナビに表示されます。（動画アプリが対応できません）
- ④ ご注意：Carplay 機能を使うには、iPhone iso12.0 以降が必要です。

### Carplay の接続ご注意：

- a) 商品が一度初期化後、Carplay 機能が使える前に、ナビを一度ネットに繋がる必要があります。ネットに接続完了後、Zlink5 アプリを開けて、右下の Carplay などのアイコンが鮮やかに表示されると、Carplay 機能が再度利用可能です。

# Androia auto (無線有線の接続が対応)



## ①有線接続：

1. android スマホの Google Play ストアから「Android Auto」アプリをダウンロードします。
2. android スマホの USB ケーブルで、ナビの任意1個のUSB 端子に接続します。もう一方の端子をスマートフォンに接続します。
- 3.ホーム画面のZlinkアプリを開けて、スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホ画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)



## ②無線接続：

1. android スマホの Google Play ストアから「Android Auto」アプリをダウンロードします。
- 2.スマホ側のモバイルデータ通信を使う。(4G 回線のみ対応可)
- 3.スマホとカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- 4.ホーム画面のZlinkアプリを開けて、スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホ画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)

# ミラーリング

本機にはミラーリング機能と iPhone Carplay/Android Auto 機能も内蔵されています。

**但し、上記の二つの機能は、同時に使うことができません。ご了承をお願いします。**

ホーム画面の  zlink5 アプリを開けて、画面右下側の  アイコンをタップして、Mirroring(ミラーリング接続)画面に切り替えます。





android スマホ (ミラーリング機能の有線接続画面)



iPhone/android スマホ (ミラーリング機能のワイヤレス接続画面)



## Android スマホをご利用の場合

### 1、USB 接続

- a. スマホ側の設定→システム→端末情報→ビルド番号を7回連続してタップして、「これでデベロッパーになりました!」と表示され、開発者向けオプションが使えるようになります。
- b. スマホ側の設定→システム→開発者向けオプションをタップして、USB デバックを許可してください。
- c. 本機とスマホをUSBケーブルで接続します。スマホ側の設定でUSB接続タイプを「ファイル転送」にする必要があります。また、Bluetooth接続してください。
- d. 本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリをタップして、画面右下側の  アイコンをタップして、Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面に切り替えます。
- e. スマホで【Zlink】アプリのダウンロードという提示が出て、アプリをダウンロードしてください。
- f. 【Zlink】アプリがスマホにインストール済、【Zlink】を起動し、ミラーリングができます。



### 2 WIFI 接続

- a. Android側のホットスポットをONにしてください。  
設定→無線とネットワーク→デザリングとポータブルアクセスをオンにします。
- b. 本機の設定→ネットワークとインターネット→WIFI→アクセスポイント名を選定し、パスワードを入力して接続します。

本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリ →画面右下側の  アイコン → Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面の左下側の **[wireless Mirroring]** → **[Android]** の順に押してください。画面に出るQRコードをスキャンして、スマホでZlinkアプリをダウンロードしてください。

- d. Zlinkアプリを起動し、ミラーリングができます。  
ご注意：車でスマホの音声を流せるため、Bluetoothの接続が必要です。

## iPhone をご利用の場合、

- a. 本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリ→画面右下側の  アイコン→Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面の左下側の [wireless Mirroring]→[iPhone]の順に押してください。
- b. iPhone 側のネット共有を ON にしてください。  
設定→モバイル通信→インターネット共有をオンにします。
- c. 本機の設定の WiFi リストから iPhone のホットスポットを選択し、パスワードを入力して接続します。(パスワードは、スマホ側でご確認ください)
- d. 接続成功の場合、iPhone 側 AirPlay(画面ミラーリング)を ON にすれば、ミラーリングできます。

### ご注意：

- 1、ミラーリングを有効になる場合、CarPlay/Android auto 機能が一時的に無効になります。
- 2、ミラーリングをご利用時、普通に動画アプリ(例えば、Youtube)が対応できます。但し、ネットの動画アプリとの相性によって、対応できない動画アプリもあります。ご了承をお願いします。

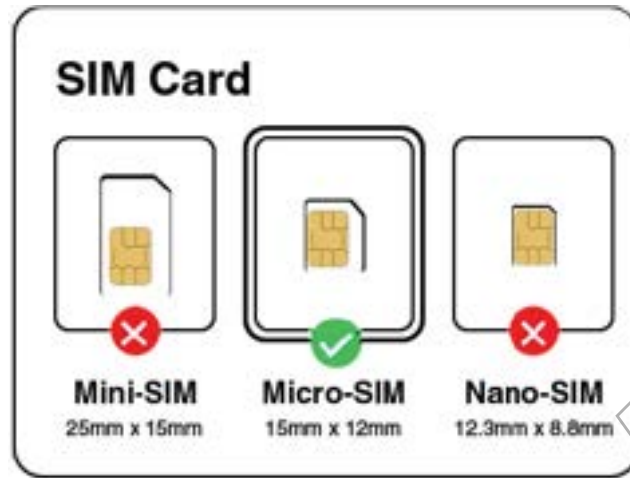
## 4G LTE 通信(4G ネットワーク)

WiFi テザリング対応可能以外、4G/LTE 通信モジュール内蔵により、独立の 4G ネットワークは他デバイスに接続せず、より簡単で安全でインターネットにアクセスができます。

ウェブサイトを閲覧したり、Google Play ストアからアプリをダウンロードしたり、オンラインゲームを遊んだりできるようになります。車の中でインターネットを使えば、可能性は無限です。



10インチのDX120L/TX121Lの場合:



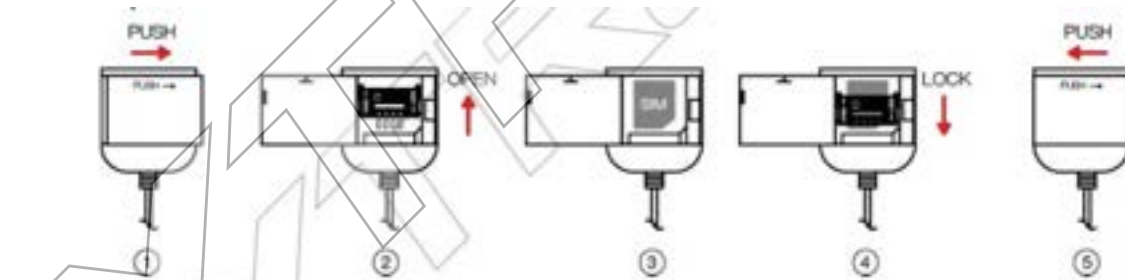
ご注意:

※NTT ドコモと Softbank 回線をサポート、au 回線は非対応。

※10 インチ TX120L/TIX125L は、マイクロ SIM カード (15mm×12 mm) のみ対応。

※他通信キャリアは周波数帯域や地域などで対応できない場合もあります。

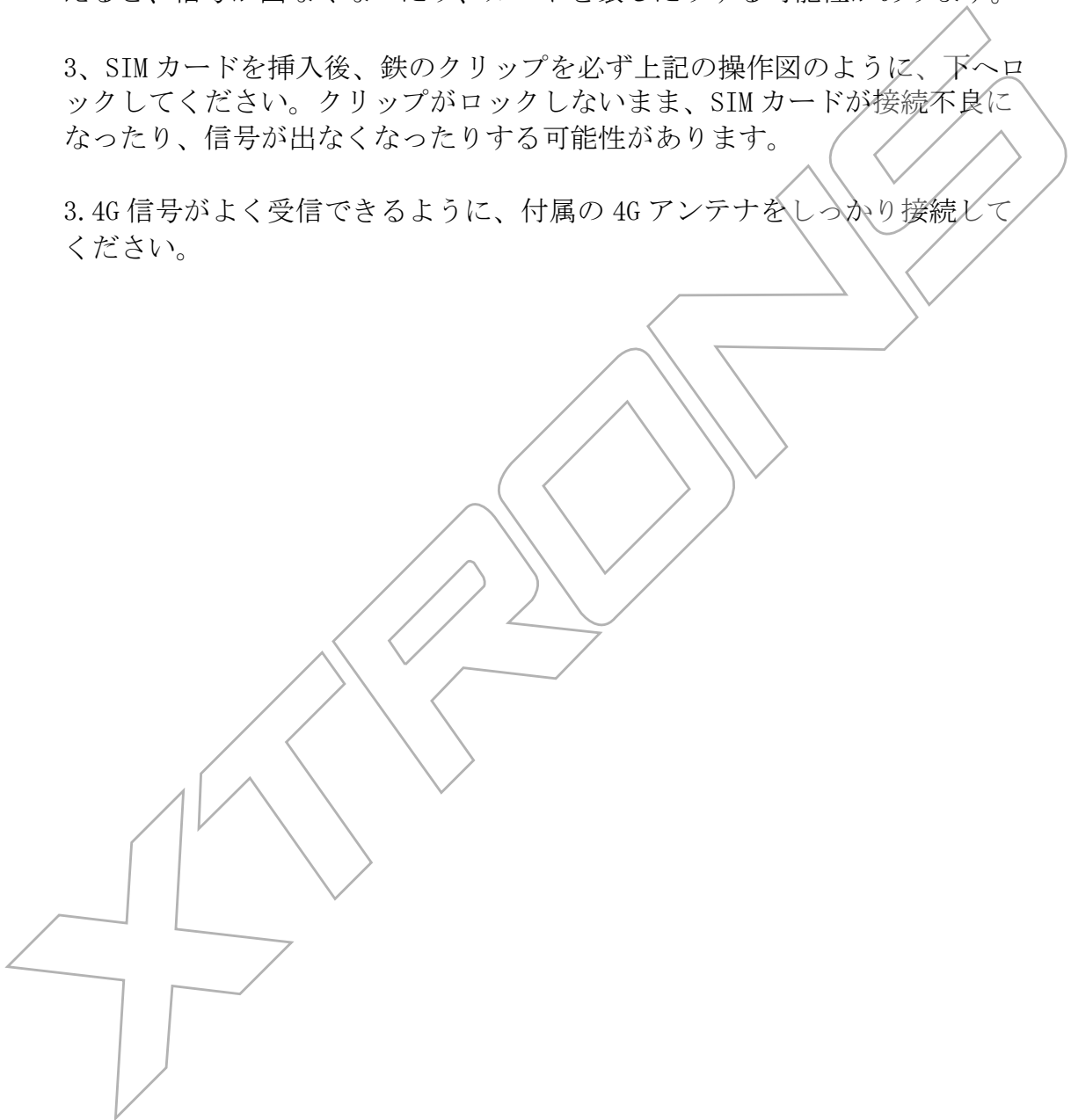
4G インターネットを使用するには、次の手順を参照してください。



- ① SIMカード用ケーブルを見つけ、右の方向へ押して、ロックを解除し、蓋を開けます
- ② クリップを上へ押して、クリップを持ち上げて開きます。
- ③ マイクロSIMカードを正しい方向に挿入します。
- ④ クリップを閉じてから、クリップを上下へ押して、ロックします。
- ⑤ 蓋を閉じ、左の方向へ押してロックします。

#### 4G 接続時のご注意：

1. 本機稼働中はSIMカードをできるだけ抜き差ししないでください。4G信号の受信に時間がかかったり、カードを壊したりする可能性があります。
2. SIMカードを挿入する際は、カードの向きにご注意ください。方向を間違えると、信号が出なくなったり、カードを壊したりする可能性があります。
3. SIMカードを挿入後、鉄のクリップを必ず上記の操作図のように、下へロックしてください。クリップがロックしないまま、SIMカードが接続不良になったり、信号が出なくなったりする可能性があります。
3. 4G信号がよく受信できるように、付属の4Gアンテナをしっかり接続してください。



# USB テザリング

\*USB テザリングが対応できるように、下記のことをご確認をお願いします。

ホーム画面の「設定」→【車の設定】→【出荷時の設定】→パスワード：0000 を入力→画面の【アプリの設定】項目の【Enable USBMUXD】をオンにしてください。

## iPhone の接続方法：




1. ホーム画面の「設定」をタップします  
2. 「インターネット共有」をタップします  
3. 「ほかの人の接続を許可」を「オン」にします

1. iPhone の純正の USB ケーブルをナビ側の USB スロットに挿入します。画面に【信頼】や【許可】という表示が出て、OK にしてください。
2. iPhone 側のモバイルデータ通信を使う。また、「インターネット共有」機能を ON にする。
3. 本機ホーム画面の上側【↔】マークが出ると、USB テザリングが成功になり、ネットに繋がることができます。

## Android スマホの場合：

Android の場合はいろんなメーカーから提供されています。それぞれ機種ごとに設定画面などが違う場合がありますが、大体同じ様な流れで設定出来るはずですので、下記参考にしながら設定してみてください。



1. Android スマホの USB ケーブルをナビの USB スロットに挿入します。
2. Android スマホバイルデータ通信を使い、設定アプリを開き、メニューから「接続」を選択します。
3. 「テザリング」を選び、「USB テザリング」を ON にします。
4. 本機ホーム画面の上側【】マークが出ると、USB テザリングが成功になり、ネットに繋がるすることができます。

# オーディオ設定



音声の効果の調整ができます。



ポップ、ロック、クラシックなど様々な音声効果を選ぶことができます。



選定した音声効果の周波数を設定することができます。



車の前後左右スピーカーのバランスが設定できます。



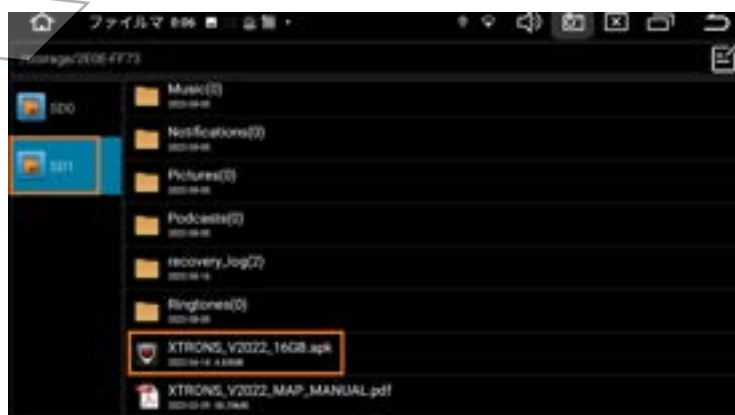
# ナビケーション

1.4G/Wifi を利用してGoogle map などのネット地図アプリがインストールできます。

2.TX121Lの場合、弊社別売りのゼンリンオフライン地図カードも対応可能です。購入希望の場合、メールにてご連絡をお願いします。

ゼンリン地図カードは、すでに同梱購入した場合、地図カードの使い方は、下記のとおりです。

- ① 地図カードをマイクロ SD スロットに挿入します。
- ② 専用【カーナビ】アプリのインストールが必要となります。
- ③ アプリのインストール手順：  
地図カードが SD スロットに挿入後→ホーム画面の【ファイルマネージャーアプリ】→【画面の左側に出た SD 1 アイコン】→画面の右下側の【ナビの APK アイコン】を順に押してください。【カーナビ】インストールの提示が出て、インストールすればよろしい。（下記添付写真をご参照）
- ④ カーナビアプリがインストール後、アプリ開けて、オフライン地図が利用できます。



## OBD2(オプション品)



本機は、自動車の自己診断機能（OBD2）をサポートしています。OBD 診断アプリ「トルク（Torque）」で車のリアルタイムデータや故障コードを読み取ることができます。OBD2 アダプターを対応ポートにさして、電圧、油温、水温、エンジン負荷などのデータをアプリ「トルク（Torque）」に表示できます。

\* OBD2 アダプターは別売りです。

## DVR(オプション品)

DVR（別売り）の設置により、走行中のあらゆるイベントをキャッチでき、衝突記録なども保存できます。

\* DVR は別売りです。

## TPMS(オプション品)

タイヤ空気圧監視システム（TPMS）を正しく取り付けた後、センサーはタイヤの空気圧と温度を自動的に監視し、リアルタイムの統計情報を受信器に送信して、車両のリアルタイムデータを本機のディスプレイに表示できます。継続的にタイヤの空気圧と温度を測定することで、運転中の安全性を高めることができます。

\* TPMS は別売りです。

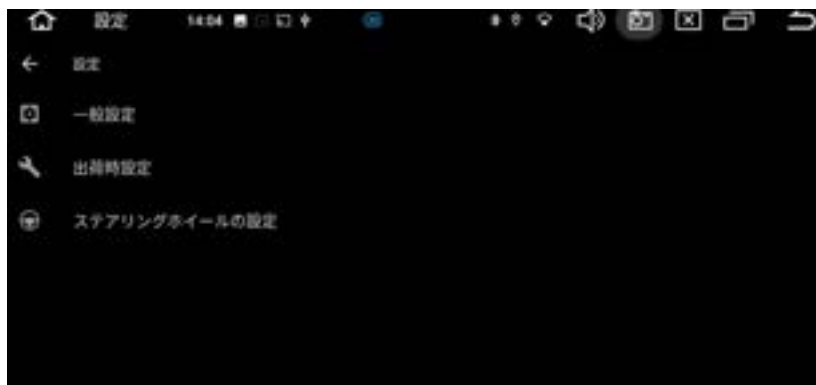
# 設定 (settings)

まず、ホーム画面の言語を日本語に設定してください。

設定方法：[settings-system-languages&input-languages-Add Language](#) を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。



## 1 車の設定



### 1.1 一般の設定

#### 1.1.1 ブレーキの ON/OFF の設定ができます。

車の走行中に、映像を再生するには、【ブレーキ】をオフに選定、(✓を入れないでください) 設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

#### 1.1.2 タッチトーン (タッチ時の操作音) ON/OFF の設定ができます。

#### 1.1.3 音量制限をオンにします

(✓を入れる) : 本機音量は、デフォルト音量以上の音量に調整後、商品再起動時、機体のデフォルト音量に戻ります。

(✓をいれない) : 本機起動時のデフォルト音量以上の音量に調整しても、商品再起動時、音声の大きさは、調整後の音量のまま、起動します。

#### 1.1.4 バック時の鏡像

ノーマル : カメラの映像を正常に映ります

ミラー : カメラの映像を鏡のように反転させます。

#### 1.1.5 バック時のミュート

バック時、音楽などメディア音声の強弱が調整できます。バック時、メディア音声の大きさが正常に出すには、【No Decay】を選定してください。

### 1.1.6 GPS サウンドモード

混合比（Mix）：ナビ案内音声は鳴る時、音楽の音声も聞こえます。

スイッチ：ナビ案内音声は鳴る時、音楽の音声も聞こえません。

### 1.1.7 ナビアプリを選択

### 1.1.8 自動的にナビゲーションを開く—ON/OFFが出来ます。

### 1.1.9 ナビゲーション音声比率

ナビ案内音声が大きくまた、小さく聞こえる時、ナビ音声のレベルが調整できます。

### 1.1.10 夜間輝度制御

閉鎖、ヘッドライト（は大灯）、時間によっての選択肢があります。

普通に【ヘッドライト（は大灯）】に設定しています。

これを選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、ヘッドライトをつけると、画面が減光されます。

### 1.1.11 夜間輝度のレベル（1%～100%）調整

### 1.1.12 パネルカラー設定

モニターのキーのイルミネーション色をお好みに合わせて変更することができます。

キーを点灯させる手順：ボタン色を選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、ヘッドライトをつけると、キーが点灯します。



### 1.1.13 USB-TVOut settings

### 1.1.14 メディア設定-ON/OFF できます

(sd カード/usb メモリーが挿入後、自動的に音楽を再生するには、✓を入れてください。)

### 1.1.15 スクリーンショットボタンを表示—ON/OFF できます

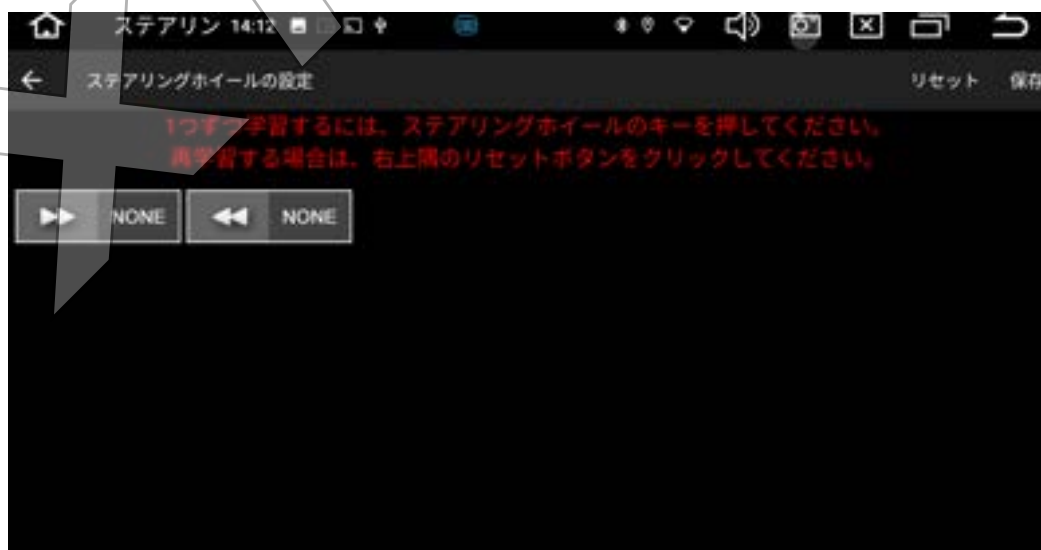
## 1.2 出荷時設定

パスワードを 0000 入力してください。

出荷モードの各項目は、できるだけ変更しないでください。変更後、ある機能が利用できなくなる恐れがあります。ご注意ください。基本設定：

無線エリア：【無線エリア】を「日本」に選定し、ホーム画面を押して、再起動の提示が出て、リブートをタッチしてください。再起動後、日本のラジオの周波数が設定完了です。

## 1.3 ステアリングホイールの設定



ハンドル上のボタンはステアリングモードでのアイコンをペアリングして、ハンドルでコントロールできます。

まず、ステアリングの配線をご確認ください。

①車両側から 2 本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線を商品のステアリングコントロールアースコードに繋いで下さい。

もう 1 本のステアリング配線を商品の KEY1 に繋いで下さい。

②また、車両側から 3 本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線をステアリングコントロールアースコードに繋いで下さい。

他の 2 本のステアリング配線を商品の KEY1、KEY2 に繋いで下さい。

配線のことを確認した後、ホーム画面の設定アイコンを押して、「車の設定」を押して、

【ステアリングホイールの設定】を押してから、設置モードに入り、右上側の【リセット】ボタンを押して、下記のようにボタンを設定してご確認ください。

①車のステアリングのボタン(例えば音量+)を押してから、ナビ画面左側の音量+ボタンをタッチして、下側の【OK/確認】をタッチしてください。

そうすれば、音量+ボタンの設定が完了です。

②他のボタンは①のように設置すればよろしいです。

③すべてのボタンは設定完了後、画面の【保存】ボタンをタッチしてください。

④設定完了後、ステアリングコントロール機能が対応するようになります。

また、車種によって、ステアリングコントロール機能が対応できない場合があります。ご了承下さい。

## 2、ネットワークとインターネット

### 2.1 Wi-Fi

Wi-Fi をオンまたはオフにします。

ネットワークの選択：

接続したい端末（アクセスポイント）をタップします。セキュリティーが設定されている場合、パスワードを入力して接続を行います。

### 2.2 機内モード

### 2.3 アクセスポイントとテザリング

### 2.4 データセーバー

### 2.5 VPN

## 3、アプリと通知

最近開いたアプリが確認できます。

また、インストールされたアプリを管理します。

## 4、ディスプレイ

### 4.1 明るさのレベル

スライダーを左右にドラッグして、画面の明るさを調整します。

### 4.2 colors & contrast

コントラストの調整が可能。

### 4.3 壁紙

写真や画像を、ホーム画面の壁紙に設定できます。

## 4.4画面がOFFになったとき

操作が行われない状態で、何秒/何分後画面が消灯されます。

## 4.5画面の自動回転

オンにすると、画面が縦表示対応可能。

オフにすると、画面が縦表示にならないです。

## 4.6スクリーンセーバー

### 5、音

メディア/デフォルト/デフォルトのアームの音量が調整できます。

### 6 ストレージ

内部ストレージの使用状況と空き容量が表示されます。

「空き容量を増やす」をタップして、不要なアイテムが削除できます。

### 7、プライバシー

### 8、位置情報

位置情報へのアクセスをアプリに許可することが設定できます。

### 9 セキュリティ

- デバイス管理アプリ
- 暗号化と認証情報
- 信頼エージェント

## 10、アカウント

Google アカウントなどが追加できます。

## 11、ユーザー補助

- テキスト読み上げの設定 — 操作のコントロール
- 音声と画面上のテキスト

## 12、Google

Google アカウントのログインなどができます。

## 13、システム

### 13.1 言語と入力

#### 13.1.1 言語

本機の表示言語を設定します。

日本語、英語、中国語などを追加して、設定できます。

設定方法：Settings-system-languages&input-languages-Add Language を日本語に選定、日本語を 1 番目の順に設定後、言語が日本語になります。

#### 13.1.2 仮想キーボード

デフォルトキーボードは Android キーボードです。インストールされているキーボードを管理できます。

#### 13.1.3 物理キーボード

外付けキーボードを設置します。

## 13.2 日付と時刻

### 13.2.1 ネットワークの時刻を使用する（オン/オフが選択できます）

○日付

○時刻

ご注意：上記の【OFF】にして、下記【日付設定】 / 【時刻設定】が手動調整できません。ON にすると、手動調整できません。

### 13.2.2 ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する—ON/OFF の設定ができます。

「タイムゾーン」の地域を【日本】に選定してから、タイムゾーンが「GMT+9：00 日本標準時」に変更されます。

ご注意：上記の【OFF】にして、タイムゾーンが手動調整できます。ON にすると、手動調整できません。

### 13.2.3 言語/地域のデフォルト使用する 13.3 バックアップ

## 13.4 リセットオプション

WIFI/モバイル、Bluetooth をリセット アプリ設定をリセット

WIFI/モバイル、Bluetooth をリセット

アプリ設定をリセット

## 13.5 システムアップデート

## 14 デバイス情報

商品の android モデル/android バージョン/ビルド番号情報などが記載されています。



# 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、下記のご確認をお願いします。

## 電源が入らない

- ① エンジンがかかっていない。エンジンを ON にしてください。
- ② 接続ケーブルが正しく接続されていない。ケーブルの接続をご確認ください。
- ③ ヒューズが切れている。切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換します。
- ④ ご自分で操作できれば、全ての配線を取り外した後、まず、商品の3本の電源配線だけを仮設置してテスト下さい。  
他の配線は絶縁ままにします。  
赤コード：ACC（アクセサリ）に繋ぎ、  
黄色コード：バッテリー電源のプラス極に繋ぎ、  
黒コード：アースに繋がります；  
電源配線3本接続後、機体が正常に起動させるかどうかをご確認ください。

## 音が出ない

- ① 音量が小さくなっている。音量を調整してください。
- ② 4組のスピーカーの配線が正しく接続されていない。配線の接続をご確認ください。

## SD/USB/TV/ネット動画の画面が音声が出て、映像がなし、画面に：「 WARNING PLEASE STOP WATCH VIDEO PLAYER」表示が出る

走行中に映像が映るには、下記のように設定してください。

手順：手順：設定→【車の設定】→【一般の設定】→【ブレーキ】を【オフ】に選定（を入れないでください）設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

### ラジオ受信感が悪い

- ① アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。
- ② 周りに障害物があって、受信感が良くない。受信状態安定の場所でもう一度ご確認ください。
- ③ 放送局の電波が弱い。受信ブースター（増幅器）を設置することが必要となるかもしれません。
- ④ アンテナが破損しました。破損したアンテナを交換してください。

### GPS 測位ができない

- ① 3つ以上のGPS衛星からの信号を受信できない場合、GPS測位ができません。
- ② 走行状況によっては、GPS衛星からの信号が車両に届かない場合があります。この場合、GPS測位ができません。
- ③ GPSアンテナの近くで携帯電話を使用すると、一時的にGPS受信ができなくなることがあります。
- ④ アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。

## 連絡先

弊社商品は、出荷日から普通に1年の保証付き、商品のご利用に何かご不明な点がございましたら、下記弊社メールアドレスにご連絡後、対応いたします。

E-mail(メールアドレス): [xtrons\\_jp@xtrons.com](mailto:xtrons_jp@xtrons.com)



[www.xtrons.co.jp](http://www.xtrons.co.jp)

# 映像再生のご注意：(USB/SD/AUX 入力/ネット Youtube 動画など)

安全のため、普通に走行中にはテレビやビデオ映像が表示されません。  
走行中に SD 動画/ネットの映像などを映るように、まず下記のように設置してください。

手順：設定→【車の設定】→【一般の設定】→【ブレーキ】を【オフ】に選定  
(✓を入れないでください)設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

## USB / SD

USB メモリー/SD カードを挿入して、保存された音楽ファイル、画像ファイルや映像ファイルを再生または表示できます。



♪USB/SD の最大容量は、64GB までです。

♪音楽ファイル形式：MP3 /WAV / WMA / AAC

♪動画形式：MP4/MOV/MPEG/AVI/WMV/DIVX/ RMVB/RV

ご注意：

② USB2.0 対応可能で、USB3.0 対応保証がしかねます。

② USB/SD の音楽や動画を再生できるように、

USB/SD のファイルシステム FAT/FAT32 に設定してください。

- ③ 上記の動画形式でも、動画コーデックによって、対応できない場合もありますが、ご了承下さい

## AUX 入力

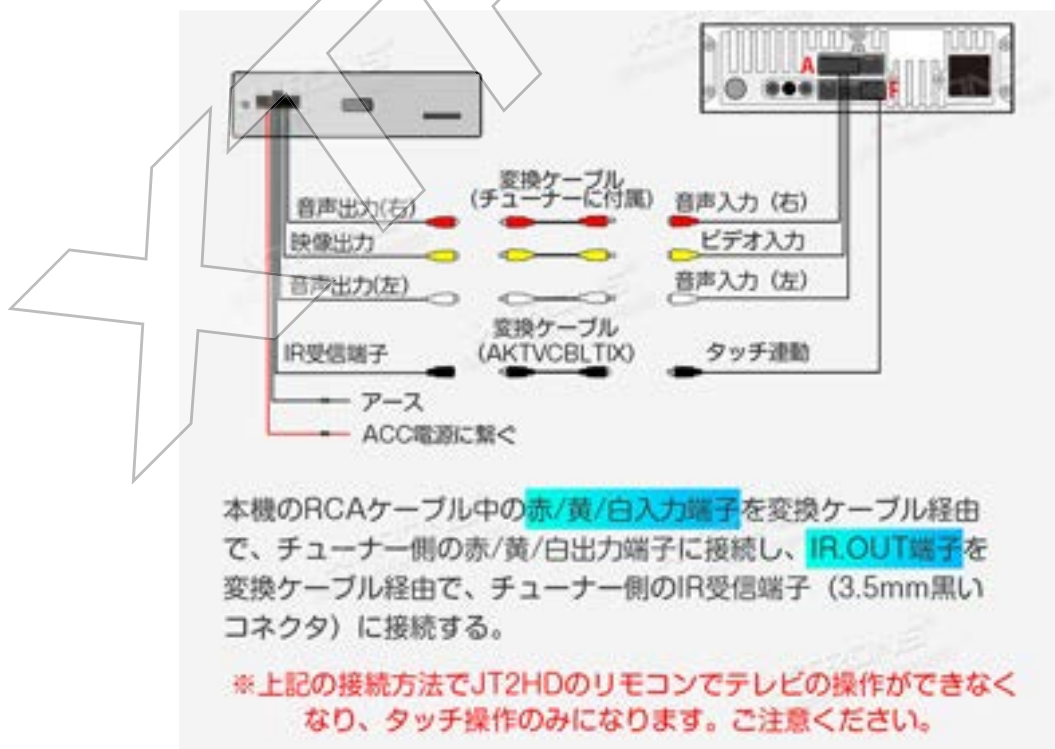
RCA ケーブルで外部機器と接続する場合、画面の「AUX」を押すと、外部入力モードに入り、外部入力映像/音声視聴できます。

## テレビ視聴

DX120LとTX121Lには、外付け地デジチューナーを取り付けば、テレビを楽しむことができます。

この機能は弊社のJT2HD（別売り）のみ対応できます。ご注意ください。

### DX120LとJT2HD（別売り）



チューナーは、上記配線接続後、本機の設定も必要です。

設定手順：

ホーム画面の「設定」→「車の設定」→「出荷時設定」（パスワード：0000）

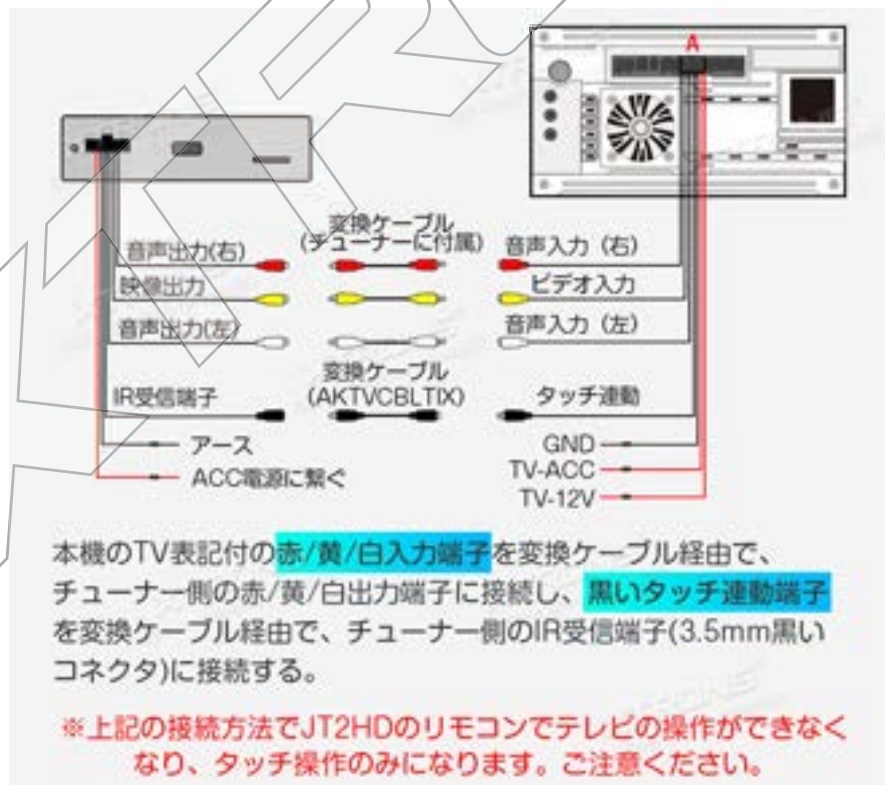
→「ARMの設定」→「TVビデオチャンネル」→「AUX」に選択

→「アプリの設定」→「テレビの種類」→「DTV」に選択

→右上の戻るアイコンを押して、適用の提示が出て、「リブート」を押して、ナビが自動的に再起動します。

再起動後、メニュー画面に「デジタルテレビ放送」のアイコンが出て、アプリに入り、番組をスキャン完了後、テレビが見えます。

### TX121LとJT2HD（別売り）





チューナーは、上記配線接続後、本機の設定も必要です。

設定手順：

ホーム画面の「設定」→「車の設定」→「出荷時設定」（パスワード：0000）

→「ARMの設定」→「TVビデオチャンネル」→「TV（9950-CHN3）」に選択

→「アプリの設定」→「テレビの種類」→「DTV」に選択

→右上の戻るアイコンを押して、適用の提示が出て、「リブート」を押して、ナビが自動的に再起動します。

再起動後、メニュー画面に「デジタルテレビ放送」のアイコンが出て、アプリに入り、番組をスキャン完了後、テレビが見えます。

「チャンネルが見つかりません」と表示される場合

モニターの「サーチ」アイコンを押して、チャンネルのスキャンを行ってください。

「信号が弱いまたはありません」と表示される場合

テレビアンテナが正しく接続されたかどうかをご確認ください。

または、遮蔽物のない、信号の良いところに移動してください。

# Bluetooth



ホーム画面のBluetooth アイコンを押して、Bluetooth 設定

本機とスマートフォンを Bluetooth 接続すると、ハンズフリー通話機能が使用できます。

※Bluetooth対応端末でも、機種によっては本機と接続に制限が発生する場合があります。

## ご注意：

安全運転のため、運転中の通話はできるだけ避けてください。

※Bluetooth 対応のスマートフォンを御用意下さい。

機種によっては本機との接続に制限が発生する場合がありますので、ご注意下さい。


## 1、ペアリング




スマホからペアリングの場合：

- Bluetooth 対応デバイスを本機の 1m以内に置きます。
- スマホの Bluetooth 機能を ON にします。
- スマホの使用可能なデバイスリストから本機のデバイス名「XTRONS」をタップします。

本機からペアリングの場合：

画面右上にサーチアイコン  をタッチして、[利用可能なデバイス]リストでデバイスを選定します

 をタップしてペアリングを行います。

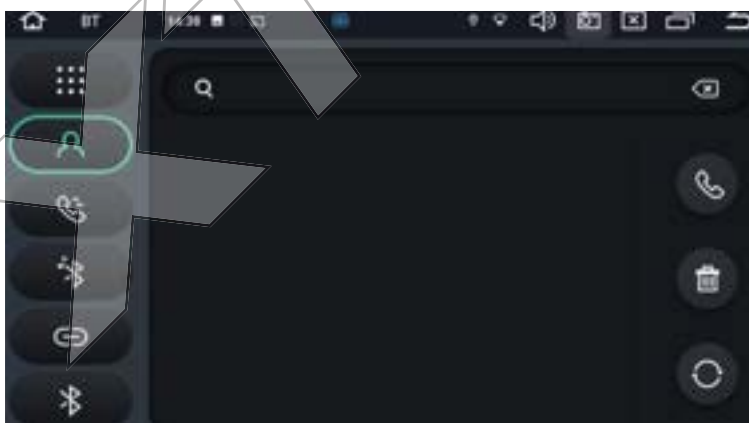
 をタップして接続解除をします。


## 2、 通話（ダイヤル）



電話番号を入力して電話をかけます。電話帳から連絡先を選択して電話をかけることもできます。

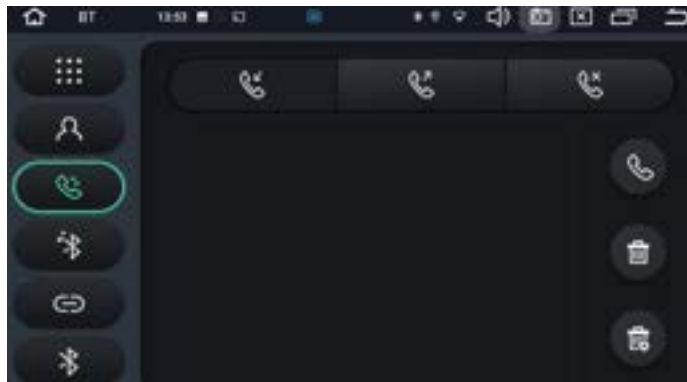
## 3. 電話帳



右側の上から4番目のダウンロードアイコン  をタップして、Bluetoothデバイスの連絡先を同期します。

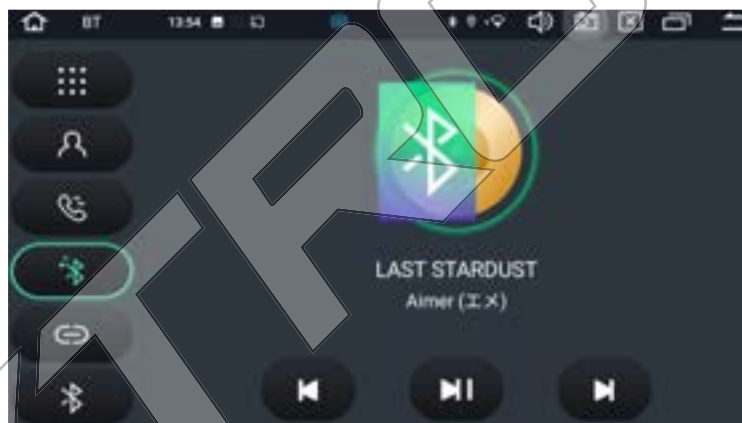
※スマホで「連絡の共有」を有効にしてください。

## 4 最近の通話履歴



最近の通話履歴には着信、不在着信、発信の履歴が表示されます。

## 5 ブルートゥース音楽



Bluetooth 接続が確立したら、Bluetooth 画面で「BT 音楽」アイコンをタップすると、Bluetooth 対応デバイスに保存されている音楽を本機で再生できます。Bluetooth 対応デバイスから音楽再生を操作してから、本機のブルートゥース音楽画面で操作ができます。

ご注意：スマホの機種によっては、本機との接続に制限が発生する場合があります。

# Carplay（無線接続対応のみ）



## iPhone の無線接続の手順：

- ① iPhone 側のモバイルデータ通信を使う。(4G回線のみ対応可)
- ② iPhone とカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- ③ ホーム画面のZlinkアプリを開けて、iPhone 側に CarPlay利用の許可の表示が出て、OK にすれば、iPhone 画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)
- ④ ご注意：Carplay 機能を使うには、iPhone iso12.0 以降が必要です。

## Carplay の接続ご注意：

- a) 商品が一度初期化後、Carplay 機能が使える前に、ナビを一度ネットに繋がる必要があります。ネットに接続完了後、Zlink5 アプリを開けて、右下の Carplay などのアイコンが鮮やかに表示されると、Carplay 機能が再度利用可能です。

# Androia auto (無線有線の接続が対応)



## ①有線接続：

1. android スマホの Google Play ストアから「Android Auto」アプリをダウンロードします。
2. android スマホの USB ケーブルで、ナビの任意1個のUSB 端子に接続します。もう一方の端子をスマートフォンに接続します。
- 3.ホーム画面のZlinkアプリを開けて、スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホ画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)

## ②無線接続：



1. android スマホの Google Play ストアから「Android Auto」アプリをダウンロードします。
- 2.スマホ側のモバイルデータ通信を使う。(4G 回線のみ対応可)
- 3.スマホとカーナビの Bluetooth 機能とペアリングする。
- 4.ホーム画面のZlinkアプリを開けて、スマホ側にAndroid Auto利用の許可の表示が出て、OK にすれば、スマホ画面がナビに表示されます。(動画アプリが対応できません)



# ミラーリング

本機にはミラーリング機能と iPhone Carplay/Android Auto 機能も内蔵されています。

**但し、上記の二つの機能は、同時に使うことができません。ご了承願います。**

ホーム画面の  zlink5 アプリを開けて、画面右下側の  アイコンをタップして、Mirroring(ミラーリング接続)画面に切り替えます。





android スマホ (ミラーリング機能の有線接続画面)



iPhone/android スマホ (ミラーリング機能のワイヤレス接続画面)

## Android スマホをご利用の場合



### 1、USB 接続

- a. スマホ側の設定→システム→端末情報→ビルド番号を7回連続してタップして、「これでデベロッパーになりました!」と表示され、開発者向けオプションが使えるようになります。
- b. スマホ側の設定→システム→開発者向けオプションをタップして、USB デバックを許可してください。
- c. 本機とスマホをUSBケーブルで接続します。スマホ側の設定でUSB接続タイプを「ファイル転送」にする必要があります。また、Bluetooth接続してください。
- d. 本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリをタップして、画面右下側の  アイコンをタップして、Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面に切り替えます。
- e. スマホで【Zlink】アプリのダウンロードという提示が出て、アプリをダウンロードしてください。
- f. 【Zlink】アプリがスマホにインストール済、【Zlink】を起動し、ミラーリングができます。

### 2 WIFI 接続


- a. Android側のホットスポットをONにしてください。  
設定→無線とネットワーク→デザリングとポータブルアクセスをオンにします。

- b. 本機の設定→ネットワークとインターネット→WIFI→アクセスポイント名を選定し、パスワードを入力して接続します。

本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリ →画面右下側の  アイコン → Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面の左下側の **[wireless Mirroring]** → **[Android]**の順に押してください。画面に出るQRコードをスキャンして、スマホでZlinkアプリをダウンロードしてください。

- d. Zlinkアプリを起動し、ミラーリングができます。  
ご注意：車でスマホの音声を流せるため、Bluetoothの接続が必要です。

## iPhone をご利用の場合、

- a. 本機のメニュー画面で  【zlink5】アプリ→画面右下側の  アイコン→Wired Mirroring(ミラーリング有線接続)画面の左下側の [wireless Mirroring]→[iPhone]の順に押してください。
- b. iPhone 側のネット共有を ON にしてください。  
設定→モバイル通信→インターネット共有をオンにします。
- c. 本機の設定のWiFi リストから iPhone のホットスポットを選択し、パスワードを入力して接続します。(パスワードは、スマホ側でご確認ください)
- d. 接続成功の場合、iPhone 側 AirPlay(画面ミラーリング)を ON にすれば、ミラーリングできます。

### ご注意：

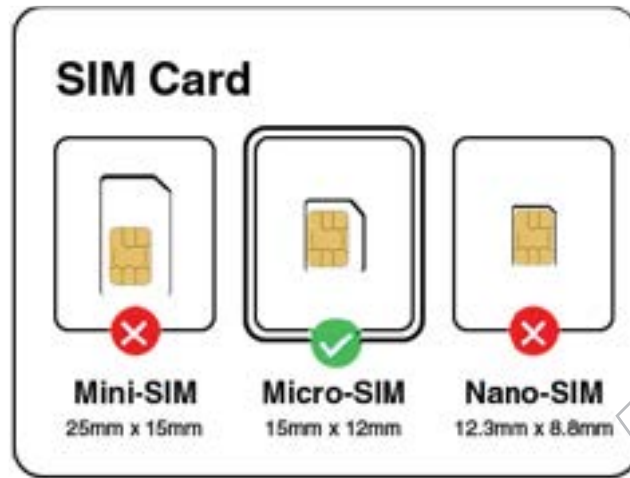
- 1、ミラーリングを有効になる場合、CarPlay/Android auto 機能が一時的に無効になります。
- 2、ミラーリングをご利用時、普通に動画アプリ(例えば、Youtube)が対応できます。但し、ネットの動画アプリとの相性によって、対応できない動画アプリもあります。ご了承をお願いします。

## 4G LTE 通信(4G ネットワーク)

WiFi テザリング対応可能以外、4G/LTE 通信モジュール内蔵により、独立の4G ネットワークは他デバイスに接続せず、より簡単で安全でインターネットにアクセスができます。

ウェブサイトを閲覧したり、Google Play ストアからアプリをダウンロードしたり、オンラインゲームを遊んだりできるようになります。車の中でインターネットを使えば、可能性は無限です。

10インチのDX120L/TX121Lの場合:



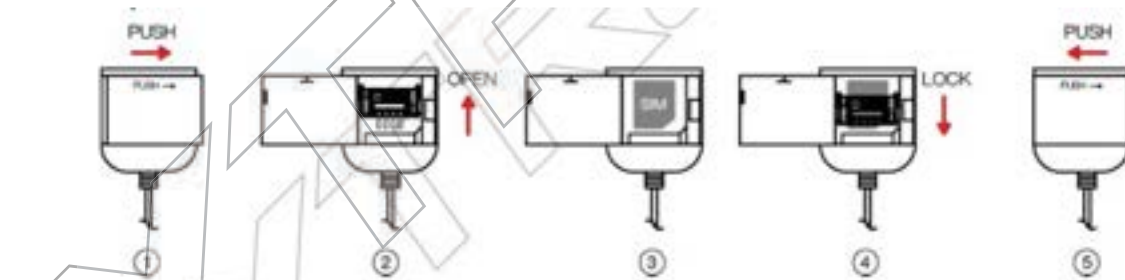
ご注意:

※NTT ドコモと Softbank 回線をサポート、au 回線は非対応。

※10 インチ TX120L/TIX125L は、マイクロ SIM カード (15mm×12 mm) のみ対応。

※他通信キャリアは周波数帯域や地域などで対応できない場合もあります。

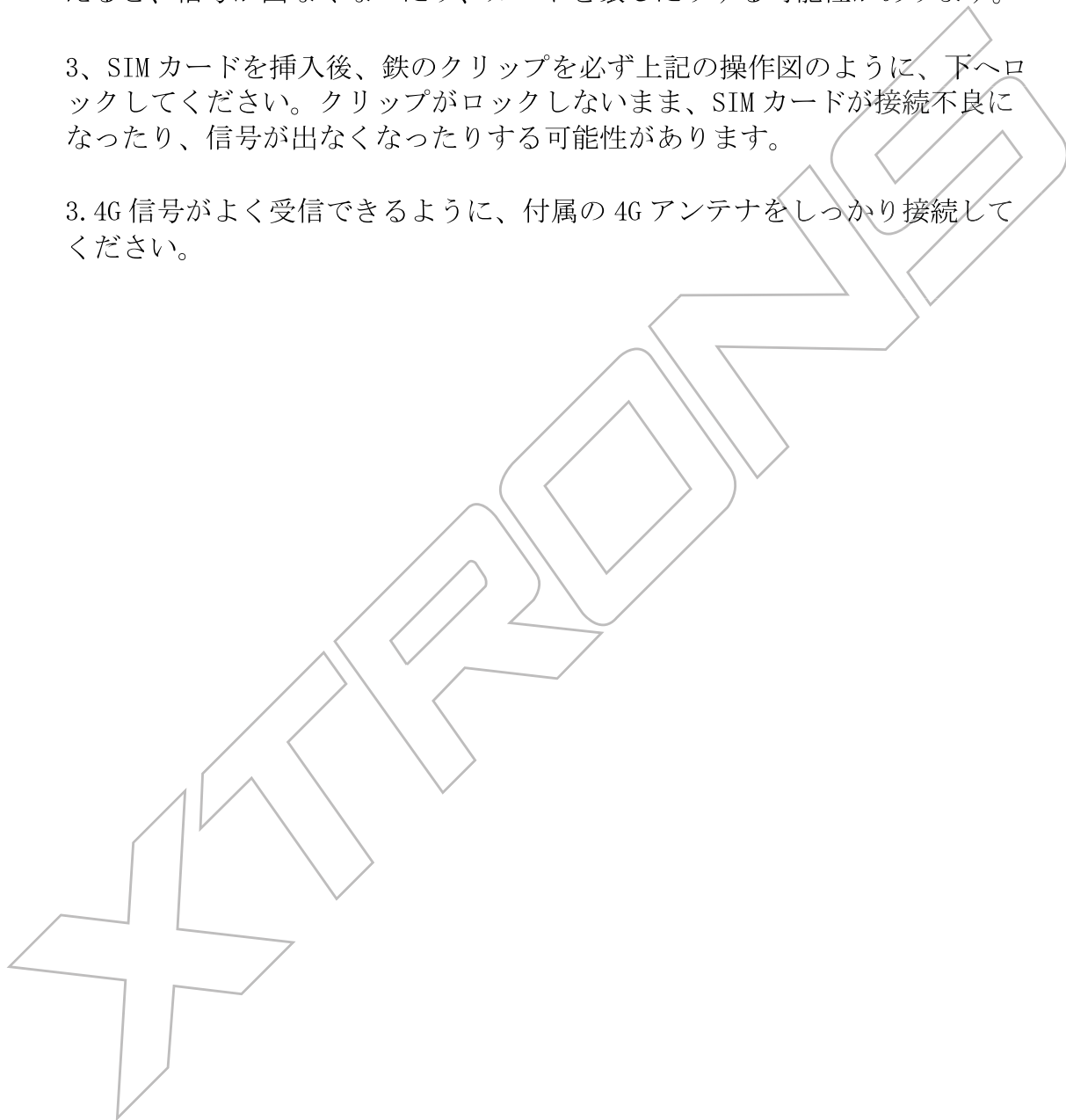
4G インターネットを使用するには、次の手順を参照してください。



- ① SIMカード用ケーブルを見つけ、右の方向へ押して、ロックを解除し、蓋を開けます
- ② クリップを上へ押して、クリップを持ち上げて開きます。
- ③ マイクロSIMカードを正しい方向に挿入しますので。
- ④ クリップを閉じてから、クリップを上下へ押して、ロックします。
- ⑤ 蓋を閉じ、左の方向へ押してロックします。

#### 4G 接続時のご注意：

1. 本機稼働中はSIMカードをできるだけ抜き差ししないでください。4G信号の受信に時間がかかったり、カードを壊したりする可能性があります。
2. SIMカードを挿入する際は、カードの向きにご注意ください。方向を間違えると、信号が出なくなったり、カードを壊したりする可能性があります。
3. SIMカードを挿入後、鉄のクリップを必ず上記の操作図のように、下へロックしてください。クリップがロックしないまま、SIMカードが接続不良になったり、信号が出なくなったりする可能性があります。
3. 4G信号がよく受信できるように、付属の4Gアンテナをしっかり接続してください。



# USB テザリング


\*USB テザリングが対応できるように、下記のことをご確認をお願いします。

ホーム画面の「設定」→【車の設定】→【出荷時の設定】→パスワード：0000 を入力→画面の【アプリの設定】項目の【Enable USBMUXD】をオンにしてください。

## iPhone の接続方法：



1. ホーム画面の「設定」をタップします  
2. 「インターネット共有」をタップします  
3. 「ほかの人の接続を許可」を「オン」にします


1. iPhone の純正の USB ケーブルをナビ側の USB スロットに挿入します。画面に【信頼】や【許可】という表示が出て、OK にしてください。
2. iPhone 側のモバイルデータ通信を使う。また、「インターネット共有」機能を ON にする。
3. 本機ホーム画面の上側【】マークが出ると、USB テザリングが成功になり、ネットに繋がることができます。



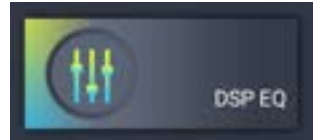
## Android スマホの場合：

Android の場合はいろんなメーカーから提供されています。それぞれ機種ごとに設定画面などが違う場合がありますが、大体同じ様な流れで設定出来るはずですので、下記参考にしながら設定してみてください。



1. Android スマホの USB ケーブルをナビの USB スロットに挿入します。
2. Android スマホバイルデータ通信を使い、設定アプリを開き、メニューから「接続」を選択します。
3. 「テザリング」を選び、「USBテザリング」を ON にします。
4. 本機ホーム画面の上側【】マークが出ると、USBテザリングが成功になり、ネットに繋がることができます。

# オーディオ設定



音声の効果の調整ができます。



ポップ、ロック、クラシックなど様々な音声効果を選ぶことができます。



選定した音声効果の周波数を設定することができます。



車の前後左右スピーカーのバランスが設定できます。

# ナビケーション

1.4G/Wifi を利用してGoogle map などのネット地図アプリがインストールできます。

2.TX121Lの場合、弊社別売りのゼンリンオフライン地図カードも対応可能です。購入希望の場合、メールにてご連絡をお願いします。

ゼンリン地図カードは、すでに同梱購入した場合、地図カードの使い方は、下記のとおりです。

- ① 地図カードをマイクロ SD スロットに挿入します。
- ② 専用【カーナビ】アプリのインストールが必要となります。
- ③ アプリのインストール手順：  
地図カードが SD スロットに挿入後→ホーム画面の【ファイルマネージャーアプリ】→【画面の左側に出た SD 1 アイコン】→画面の右下側の【ナビの APK アイコン】を順に押してください。【カーナビ】インストールの提示が出て、インストールすればよろしい。（下記添付写真をご参照）
- ④ カーナビアプリがインストール後、アプリ開けて、オフライン地図が利用できます。



## OBD2(オプション品)



本機は、自動車の自己診断機能（OBD2）をサポートしています。OBD 診断アプリ「トルク（Torque）」で車のリアルタイムデータや故障コードを読み取ることができます。OBD2 アダプターを対応ポートにさして、電圧、油温、水温、エンジン負荷などのデータをアプリ「トルク（Torque）」に表示できます。

\* OBD2 アダプターは別売りです。

## DVR(オプション品)

DVR（別売り）の設置により、走行中のあらゆるイベントをキャッチでき、衝突記録なども保存できます。

\* DVR は別売りです。

## TPMS(オプション品)

タイヤ空気圧監視システム（TPMS）を正しく取り付けた後、センサーはタイヤの空気圧と温度を自動的に監視し、リアルタイムの統計情報を受信器に送信して、車両のリアルタイムデータを本機のディスプレイに表示できます。継続的にタイヤの空気圧と温度を測定することで、運転中の安全性を高めることができます。

\* TPMS は別売りです。

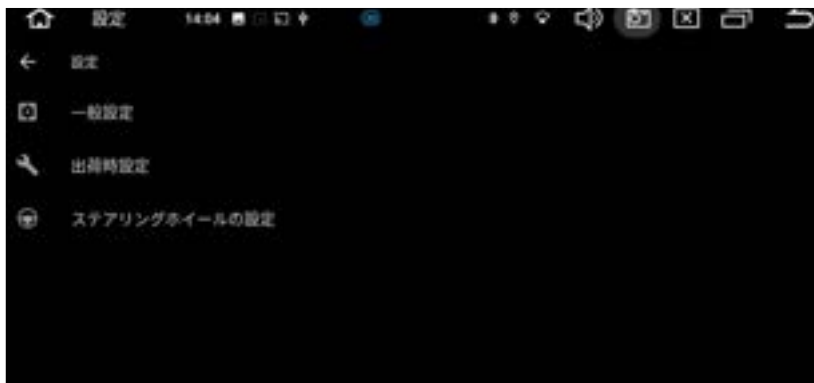
# 設定 (settings)

まず、ホーム画面の言語を日本語に設定してください。

設定方法：[settings-system-languages&input-languages-Add Language](#) を日本語に選定、日本語を1番目の順に設定後、言語が日本語になります。



## 1 車の設定



### 1.1 一般の設定

#### 1.1.1 ブレーキの ON/OFF の設定ができます。

車の走行中に、映像を再生するには、【ブレーキ】をオフに選定、(✓を入れないでください) 設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

#### 1.1.2 タッチトーン (タッチ時の操作音) ON/OFF の設定ができます。

#### 1.1.3 音量制限をオンにします

(✓を入れる) : 本機音量は、デフォルト音量以上の音量に調整後、商品再起動時、機体のデフォルト音量に戻ります。

(✓をいれない) : 本機起動時のデフォルト音量以上の音量に調整しても、商品再起動時、音声の大きさは、調整後の音量のまま、起動します。

#### 1.1.4 バック時の鏡像

ノーマル : カメラの映像を正常に映ります

ミラー : カメラの映像を鏡のように反転させます。

#### 1.1.5 バック時のミュート

バック時、音楽などメディア音声の強弱が調整できます。バック時、メディア音声の大きさが正常に出すには、【No Decay】を選定してください。

### 1.1.6 GPS サウンドモード

混合比（Mix）：ナビ案内音声は鳴る時、音楽の音声も聞こえます。

スイッチ：ナビ案内音声は鳴る時、音楽の音声も聞こえません。

### 1.1.7 ナビアプリを選択

### 1.1.8 自動的にナビゲーションを開く—ON/OFF ができます。

### 1.1.9 ナビゲーション音声比率

ナビ案内音声が大きくまた、小さく聞こえる時、ナビ音声のレベルが調整できます。

### 1.1.10 夜間輝度制御

閉鎖、ヘッドライト（は大灯）、時間によっての選択肢があります。

普通に【ヘッドライト（は大灯）】に設定しています。

これを選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、ヘッドライトをつけると、画面が減光されます。

### 1.1.11 夜間輝度のレベル（1%～100%）調整

### 1.1.12 パネルカラー設定

モニターのキーのイルミネーション色をお好みに合わせて変更することができます。

キーを点灯させる手順：ボタン色を選定後、ナビの後ろ側のイルミネーション配線を車側のヘッドライトのプラス極に繋ぎ、ヘッドライトをつけると、キーが点灯します。



### 1.1.13 USB-TVOut settings

### 1.1.14 メディア設定-ON/OFF できます

(sd カード/usb メモリーが挿入後、自動的に音楽を再生するには、✓を入れてください。)

### 1.1.15 スクリーンショットボタンを表示—ON/OFF できます

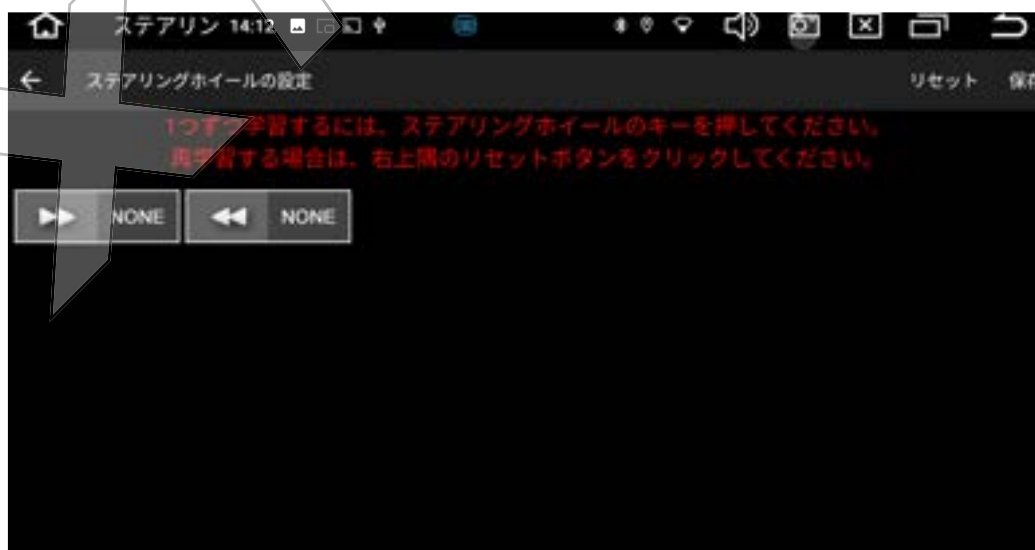
## 1.2 出荷時設定

パスワードを 0000 入力してください。

出荷モードの各項目は、できるだけ変更しないでください。変更後、ある機能が利用できなくなる恐れがあります。ご注意ください。基本設定：

無線エリア：【無線エリア】を「日本」に選定し、ホーム画面を押して、再起動の提示が出て、リブートをタッチしてください。再起動後、日本のラジオの周波数が設定完了です。

## 1.3 ステアリングホイールの設定



ハンドル上のボタンはステアリングモードでのアイコンをペアリングして、ハンドルでコントロールできます。

まず、ステアリングの配線をご確認ください。

①車両側から 2 本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線を商品のステアリングコントロールアースコードに繋いで下さい。

もう 1 本のステアリング配線を商品の KEY1 に繋いで下さい。

②また、車両側から 3 本のステアリングスイッチ配線の場合、

1 本のアース配線をステアリングコントロールアースコードに繋いで下さい。

他の 2 本のステアリング配線を商品の KEY1、KEY2 に繋いで下さい。

配線のことを確認した後、ホーム画面の設定アイコンを押して、「車の設定」を押して、

【ステアリングホイールの設定】を押してから、設置モードに入り、右上側の【リセット】ボタンを押して、下記のようにボタンを設定してご確認ください。

①車のステアリングのボタン(例えば音量+)を押してから、ナビ画面左側の音量+ボタンをタッチして、下側の【OK/確認】をタッチしてください。

そうすれば、音量+ボタンの設定が完了です。

②他のボタンは①のように設置すればよろしいです。

③すべてのボタンは設定完了後、画面の【保存】ボタンをタッチしてください。

④設定完了後、ステアリングコントロール機能が対応するようになります。

また、車種によって、ステアリングコントロール機能が対応できない場合があります。ご了承下さい。

## 2、ネットワークとインターネット

### 2.1 Wi-Fi

Wi-Fi をオンまたはオフにします。

ネットワークの選択：

接続したい端末（アクセスポイント）をタップします。セキュリティーが設定されている場合、パスワードを入力して接続を行います。

### 2.2 機内モード

### 2.3 アクセスポイントとテザリング

### 2.4 データセーバー

### 2.5 VPN

## 3、アプリと通知

最近開いたアプリが確認できます。

また、インストールされたアプリを管理します。

## 4、ディスプレイ

### 4.1 明るさのレベル

スライダーを左右にドラッグして、画面の明るさを調整します。

### 4.2 colors & contrast

コントラストの調整が可能。

### 4.3 壁紙

写真や画像を、ホーム画面の壁紙に設定できます。

## 4.4画面がOFFになったとき

操作が行われない状態で、何秒/何分後画面が消灯されます。

## 4.5画面の自動回転

オンにすると、画面が縦表示対応可能。

オフにすると、画面が縦表示にならないです。

## 4.6スクリーンセーバー

### 5、音

メディア/デフォルト/デフォルトのアームの音量が調整できます。

### 6 ストレージ

内部ストレージの使用状況と空き容量が表示されます。

「空き容量を増やす」をタップして、不要なアイテムが削除できます。

### 7、プライバシー

### 8、位置情報

位置情報へのアクセスをアプリに許可することが設定できます。

### 9 セキュリティ

- デバイス管理アプリ
- 暗号化と認証情報
- 信頼エージェント

## 10、アカウント

Google アカウントなどが追加できます。

## 11、ユーザー補助

—テキスト読み上げの設定 —操作のコントロール  
—音声と画面上のテキスト

## 12、Google

Google アカウントのログインなどができます。

## 13、システム

### 13.1 言語と入力

#### 13.1.1 言語

本機の表示言語を設定します。

日本語、英語、中国語などを追加して、設定できます。

設定方法：[Settings-system-languages&input-languages-Add Language](#) を日本語に選定、日本語を 1 番目の順に設定後、言語が日本語になります。

#### 13.1.2 仮想キーボード

デフォルトキーボードは Android キーボードです。インストールされているキーボードを管理できます。

#### 13.1.3 物理キーボード

外付けキーボードを設置します。

## 13.2 日付と時刻

### 13.2.1 ネットワークの時刻を使用する（オン/オフが選択できます）

○日付

○時刻

ご注意：上記の【OFF】にして、下記【日付設定】 / 【時刻設定】が手動調整できず。ON にすると、手動調整できません。

### 13.2.2 ネットワークから提供されたタイムゾーンを使用する—ON/OFF の設定ができます。

「タイムゾーン」の地域を【日本】に選定してから、タイムゾーンが「GMT+9：00 日本標準時」に変更されます。

ご注意：上記の【OFF】にして、タイムゾーンが手動調整できます。ON にすると、手動調整できません。

### 13.2.3 言語/地域のデフォルト使用する 13.3 バックアップ

## 13.4 リセットオプション

WIFI/モバイル、Bluetooth をリセット アプリ設定をリセット

WIFI/モバイル、Bluetooth をリセット

アプリ設定をリセット

## 13.5 システムアップデート

## 14 デバイス情報

商品の android モデル/android バージョン/ビルド番号情報などが記載されています。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼する前に、下記のご確認をお願いします。

## 電源が入らない

- ① エンジンがかかっていない。エンジンを ON にしてください。
- ② 接続ケーブルが正しく接続されていない。ケーブルの接続をご確認ください。
- ③ ヒューズが切れている。切れたヒューズを同じ容量のヒューズと交換します。
- ④ ご自分で操作できれば、全ての配線を取り外した後、まず、商品の3本の電源配線だけを仮設置してテスト下さい。  
他の配線は絶縁ままにします。  
赤コード：ACC（アクセサリ）に繋ぎ、  
黄色コード：バッテリー電源のプラス極に繋ぎ、  
黒コード：アースに繋がります；  
電源配線3本接続後、機体が正常に起動させるかどうかをご確認ください。

## 音が出ない

- ① 音量が小さくなっている。音量を調整してください。
- ② 4組のスピーカーの配線が正しく接続されていない。配線の接続をご確認ください。



## SD/USB/TV/ネット動画の画面が音声が出て、映像がなし、画面に：「 WARNING PLEASE STOP WATCH VIDEO PLAYER」表示が出る

走行中に映像が映るには、下記のように設定してください。

手順：手順：設定→【車の設定】→【一般の設定】→【ブレーキ】を【オフ】に選定（を入れないでください）設定完了後、走行中に映像の再生が対応可能です。

## ラジオ受信感が悪い

- ① アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。
- ② 周りに障害物があって、受信感が良くない。受信状態安定の場所でもう一度ご確認ください。
- ③ 放送局の電波が弱い。受信ブースター（増幅器）を設置することが必要となるかもしれません。
- ④ アンテナが破損しました。破損したアンテナを交換してください。

## GPS 測位ができない

- ① 3つ以上のGPS衛星からの信号を受信できない場合、GPS測位ができません。
- ② 走行状況によっては、GPS衛星からの信号が車両に届かない場合があります。この場合、GPS測位ができません。
- ③ GPSアンテナの近くで携帯電話を使用すると、一時的にGPS受信ができなくなることがあります。
- ④ アンテナケーブルの接続不良があります。アンテナケーブルの接続をご確認ください。

## 連絡先

弊社商品は、出荷日から普通に1年の保証付き、商品のご利用に何かご不明な点がございましたら、下記弊社メールアドレスにご連絡後、対応いたします。

E-mail(メールアドレス): [xtrons\\_jp@xtrons.com](mailto:xtrons_jp@xtrons.com)



[www.xtrons.co.jp](http://www.xtrons.co.jp)